

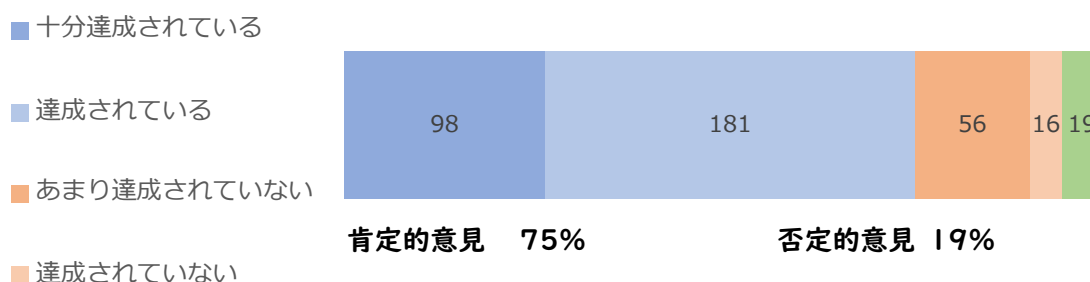
学校評価アンケート結果について

令和6年に実施した本校の教育活動に関するアンケート調査の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。児童数で調査し、370通、49.7%の回答をいただきました。ご多用の中、アンケートへのご協力に感謝いたします。

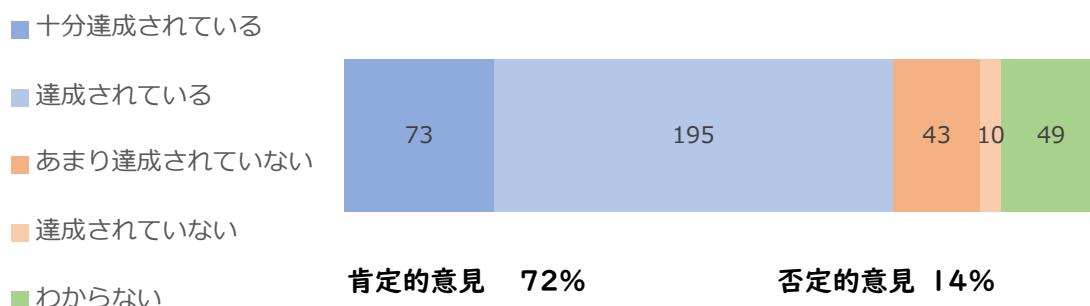
今回ご回答いただいたアンケートをもとに、来年度の本校の教育活動を改善してまいります。なお、質問項目①から⑩は渋谷区共通質問項目で、⑪から⑮は本校独自の質問項目です。

Ⅰ 新たな学びの実現（授業DX）

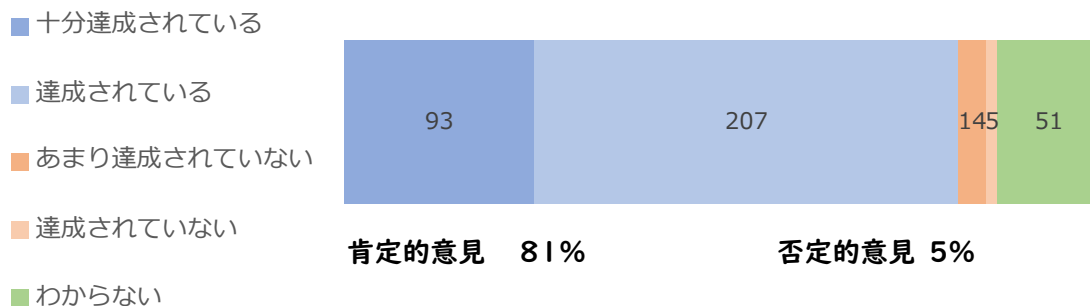
設問Ⅰ お子さんは自ら進んで授業をはじめとした学校の学習に取り組んでいますか。



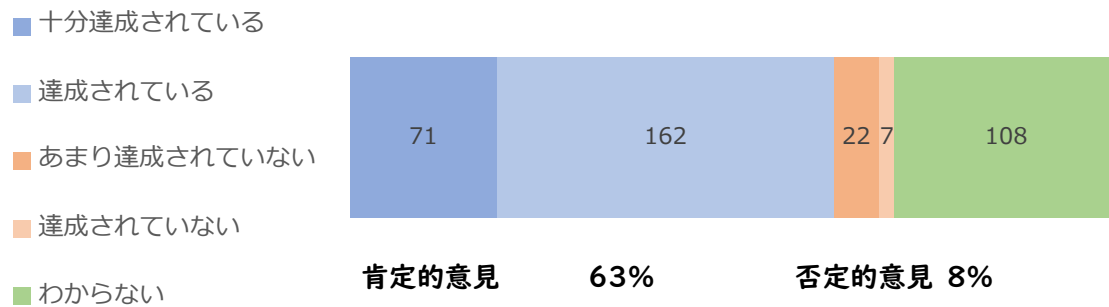
設問2 学校は、お子さんの進度や習熟度に応じた授業や学習支援を行っていますか。



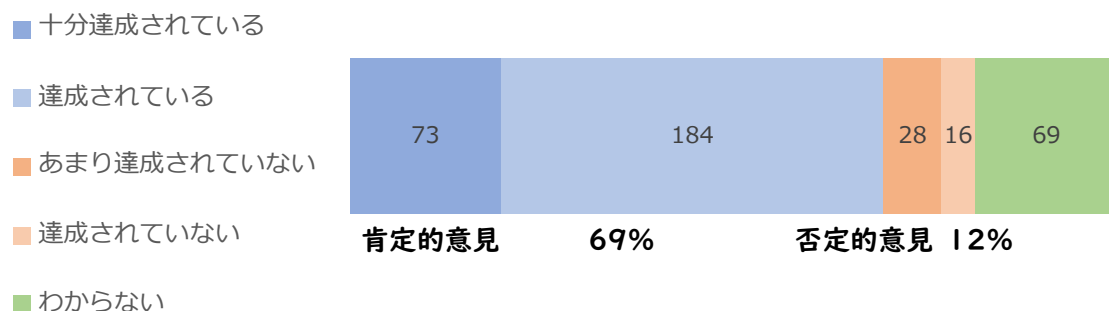
設問3 学校は、子供同士で意見を交換したり、調べたりするなど、協働的・対話的な学びのある授業を行っていますか。



設問4 学校は、「シブヤ科」の学習を通して、自らの課題を設定して解決の見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習を推進していますか。



設問5 学校は、前出の設問1から設問4の授業を推進するために、お子さんのタブレット端末を効果的に使っていますか。



【結果】

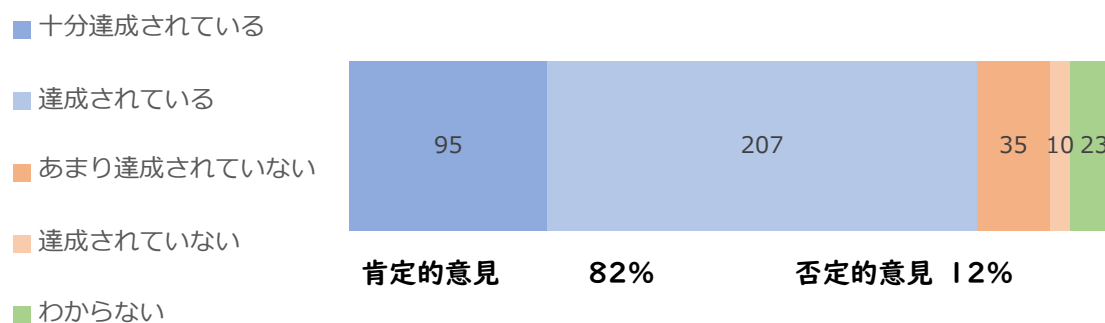
「授業自体は面白く、意欲的に学習に取り組んでいる」、「授業の中で子供達が必要に応じてよく意見交換をしている」、「高学年ではタブレットの使用について子供たち一人一人が自分で判断して使うことが出来ていて、選択できるものとなっているのがよいと感じた」など、肯定的な意見を頂きました。一方、「タブレット使用は3年生以上でよい。効果的な使用が出来ていない」、「他国の教育の状況からデジタルの扱いについて検討の必要がある。」、「算数だけでなく少人数の指導を展開してほしい。」といった要望もありました。

授業DXとは、渋谷区が進める新たな学びの在り方の一つです。デジタル教科書を活用して学び、アプリケーションを活用して児童同士が情報を共有し、学びを広げ、深めていきます。使用学年を限定することは、学校単位では出来ませんが、肯定的なご意見でもありましたように、最終的には児童が学び方の一つとして自身で選択して活用できる形を目指して指導して参ります。ご意見については渋谷区教育委員会に伝えます。また、各学級で「幡代よい子のタブレットルール」について確実に指導し、年間を通して効果的にタブレットを使用できるように指導していきます。

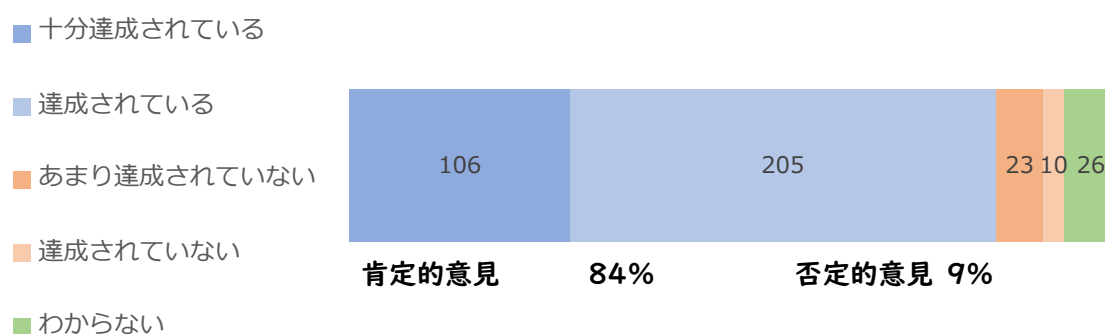
学校では様々な制度を活用し、支援員、補助員、講師など最大限の人員配置をして教育活動を行っています。残念ながら算数のような少人数指導の配置を他教科で実現できるような制度はなく、増員は困難です。一人一人の児童をきめ細かく指導していけるよう、研修等を充実して参ります。

2 安心・安全に挑戦できる学校

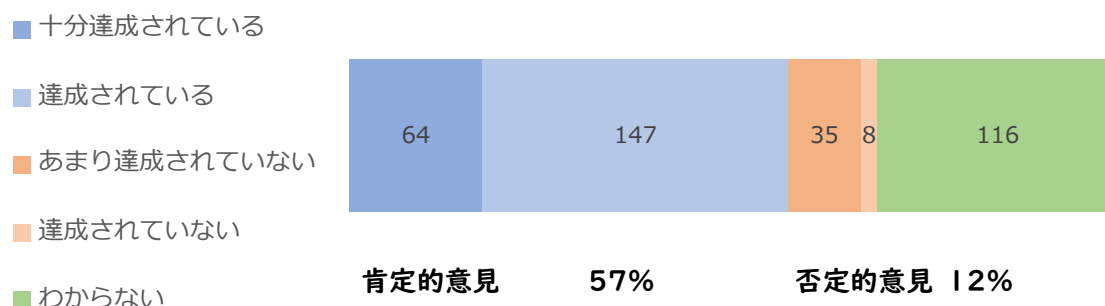
設問6 お子さんは安心して学習に取り組むことができましたか。



設問7 学校は、お子さんや保護者の相談に誠実に対応していますか。



設問8 学校は、いじめ対応の方針をお子さんや保護者に明確に伝え、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。



【結果】

「毎日学校に行くのを楽しみにしている」、「いつも子供たちに寄り添い、学校生活が楽しく送れるよう考えて下っている」などの肯定的な意見を頂きました。一方で学級の状況や担任の対応に対してご心配をおかけしている内容もありました。

【今後の対応】

頂いたご意見を基に、今後以下のように取り組んでまいります。

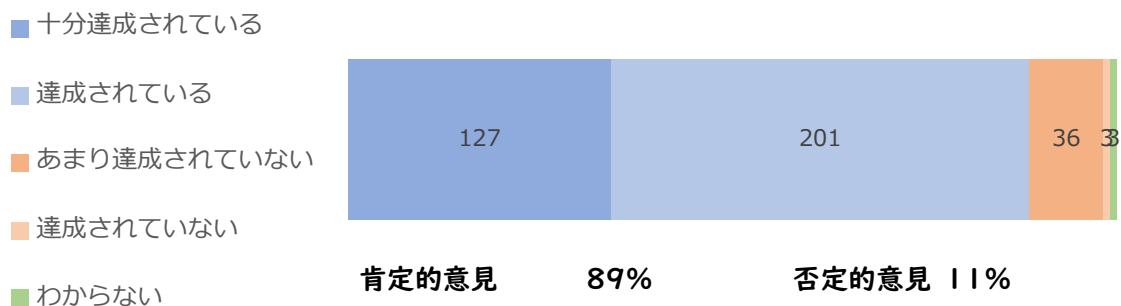
○主に若手教員を対象に児童との関わり方、保護者の皆様との連絡の重要性とその手法などの研修を設定します。

○引き続き学級のトラブルに関して日常的に学年団で情報共有し、必要に応じて複数の教員で対応していきます。また、学年での対応が難しい場合には、学校全体で取り組んでまいります。

※学年団…担任に加え専科教員を含めた5～6名の教員団。

3 校務DXへの取組

設問9 学校は、学校だよりなどの配布物や調査について、学校ホームページやHome&school(ホームアンド スクール)などを活用して、ペーパーレス化を推進していますか。



【結果】

「昨年の要望を実現していただき、多くの連絡がデータ化された。」「地域のお知らせがデータで送られるようになり、助かっている」といった肯定的な意見をいただきました。ただ、Home&Schoolの仕様に関する要望や地域のお知らせが不要、宿題配布をデータ化してほしい、といったご意見も頂きました。

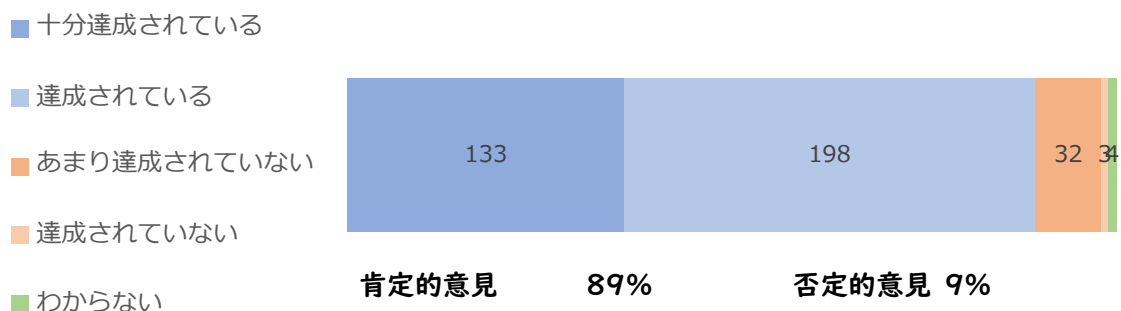
【今後の対応】

○学校からの連絡については引き続き、校長・学年・担任からの連絡はHome&Schoolを基本とし、学校だより・給食の献立・低学年の週予定はペーパーにて配布を基本とします。

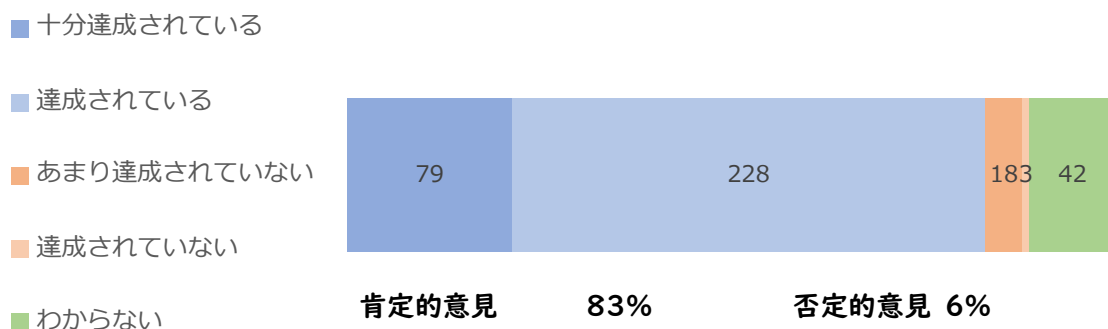
○Home&Schoolの仕様に関する要望、ソート機能や通知などについては渋谷区教育委員会に報告いたします。

4 家庭・地域との協働

設問10 学校は、教育の方針を分かりやすく伝えていきますか。



設問11 学校は、家庭・地域の理解と協力を得て、教育活動を推進していますか。



【結果】

「家庭ではなかなか行けない演劇などイベントも積極的に取り入れてくれるので勉強面だけではなく心の豊かさも育っているような気がします。」など肯定的なご意見も頂きました。

【今後の対応】

学校では次年度も引き続き、保護者の皆様や地域の人材と施設等を活用した学習を取り入れ、教育を進めて参ります。

5 特色のある教育活動

設問12 学校の教育活動は、学校の特色が表れたものになっていますか。

■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



肯定的意見

73%

否定的意見 8%

設問13 学校は、デジタル・シティズンシップ※が身につくようにタブレット端末を適切に活用した教育活動を推進していますか。

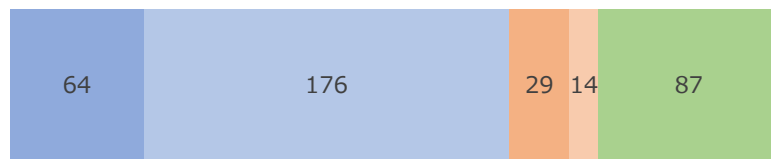
■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



肯定的意見

65%

否定的意見 12%

【結果】

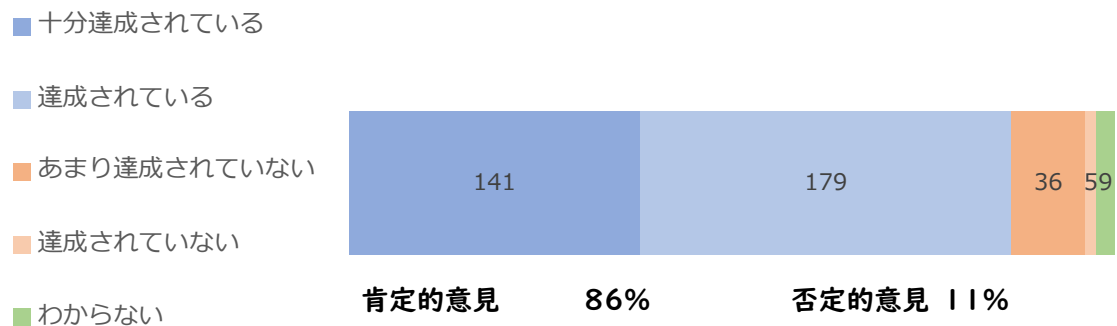
「教科担任制は、色々な先生に教えてもらって楽しい、と聞いている。」等、本校の特色の一つである教科担任制を肯定するご意見を頂きました。一方、タブレットの活用に関しては、「授業に関係のない事を検索したり、ゲームをしたりしている。」、「アプリ等の使用時間を制限してほしい」等のご意見を頂きました。

【今後の対応】

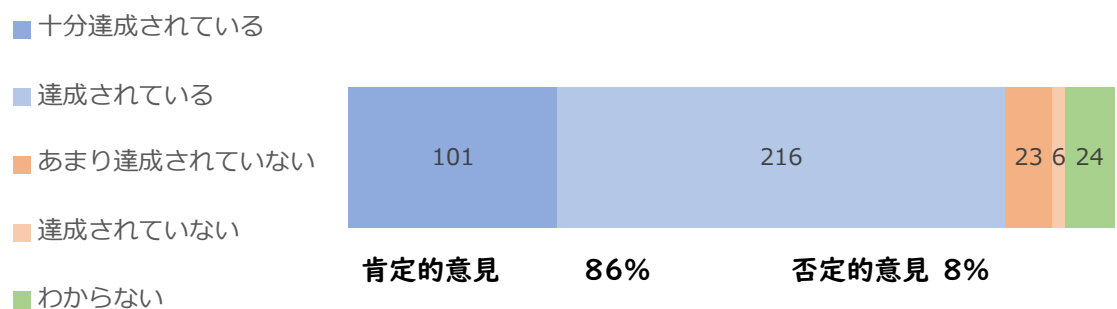
○タブレット使用のルールを徹底すると共に、必要に応じて使用する力を身に付けられるよう、学年段階に合わせて指導して参ります。また、情報モラルに関する授業も設定していきます。

○ご自宅での使用時間などはご家庭で定めていただいておりますが、適切な使用の仕方について継続的に指導してまいります。

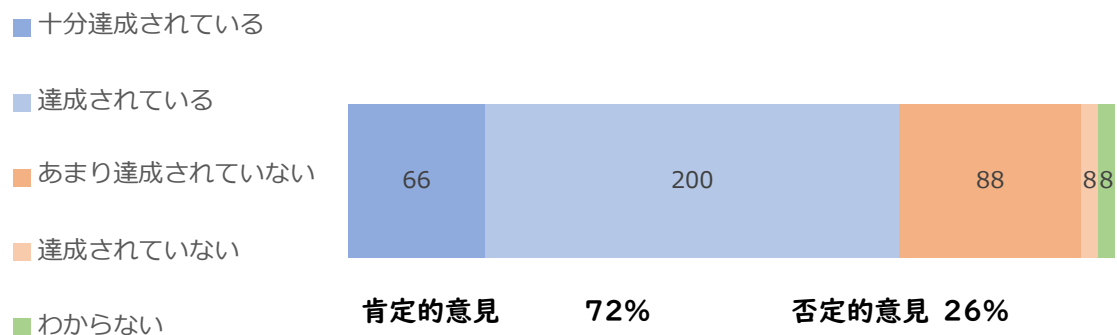
設問14 お子さんは、楽しく学校に通っていますか。



設問15 お子さんは、住んでいる地域や渋谷区への愛着が育っていますか



設問16 ご家庭では、タブレットやスマートホンの使い方やルールについて話し合っていますか。



【結果】

「楽しく通えている」、「地域に愛着をもてている」について肯定的な回答を多く頂きました。ただ、「楽しく通えていない」との回答もあり、学校として真摯に受け止めてまいります。

【今後の対応】

○学年団で児童の情報共有を確実に行うと共に、アンケート等の結果を確認し、児童に必要な声かけを行っていきます。また、児童の状況を正確に把握し、指導が行えるよう、教員の指導力向上を目指し、研修を充実させていきます。

○生活アンケートの確実に実施し、日常生活の様子に目を配ることなどして、いじめの未然防止に努めます。

○不登校への対応は、つばめ教室の利用を継続していきます。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー・関係機関と連携し、対応していきます。

まとめ（校長から）

アンケートへのご回答をありがとうございました。昨年と今年の肯定的意見と否定的意見の割合を比べてみると、次の項目で大きな差がありました。

設問 4 「シブヤ科」の推進 肯定的意見 50%→59%

設問 5 タブレットの使用 否定的意見 12%→18%

設問 8 いじめ対応 否定的意見 10%→16%

設問12 学校の特徴 肯定的意見 61%→80%

設問15 渋谷区への愛着 肯定的意見 74%→85%

シブヤ科で5年生は防災について学び、地域防災にかかわる方から話を聞いたり避難所運営訓練に参加したりしました。6年生は初台阿波踊りを盛り上げる活動をしました。下学年でも何回も地域に出て学習しました。こうした学習で設問4や15の肯定的意見が伸びたのだと思います。その他、今年度は新国立劇場での観劇、落語教室、フェンシング教室など本校独自の活動を数多く行いました。つばめ教室も本校の特色です。こうしたことが設問12で肯定的な意見が大きく伸びた理由だと思います。4月からいよいよシブヤ未来科が始まります。今後も地域や企業と連携した学習を積極的に進めていきます。タブレットについては、自由意見でも「書くことも大切にほしい」「ルールを徹底してほしい」「代替機を用意してほしい」などのご意見をいただきました。こうした理由で否定的な意見が増えたと考えます。タブレットをバランスよく利用し、書くことも大切にします。また、SNSのルールや危険性なども含めタブレットの使い方をさらに指導していきます。いじめ対応については「分からない」の回答も多くなっています。いじめへの対応をより明確にしていく必要があります。また、その他の項目でも「分からない」の割合が大きい項目がいくつかあります。教育活動について知っていただけるように、行事や学校公開を工夫して実施するとともに、ホームページやHome&schoolで積極的に学校の様子を発信してまいります。校長日記や宿泊だよりも頑張ります。

落ち着いた学級へのご意見も数多くいただきました。そこには子供だけの問題ではなく、様々な要因が重なっています。学校としても最大限の努力はしているつもりです。今後は何をどのように努力しているのかをより明らかにして、理解と協力を得ていきます。

私は設問の中では、14の「楽しく学校に通っていますか」を最も大切に考えています。昨年と比較し、肯定的な回答は変わりませんでした。否定的な回答は12%と少しだけ減りました。しかし、まだまだです。全員が楽しいと思える学校を目指していきます。

今回の学校評価の結果も踏まえた来年度の計画や具体的な教育活動の変更点については、3月の幡代だよりでお知らせいたします。